



図書館だより

町立図書館 ☎286-3405

図書館職員が
選んだおすすめ
図書を紹介



100万回死んだねこ ～覚え違いタイトル集～

福井県立図書館／編著
講談社



いつかあなたを わすれても

桜木 柴乃／作
オザワ ミカ／絵
集英社



この指とどけ

村上 しいこ／作
山田 花菜／絵
講談社



タキミカ体操

瀧島 未香／著
サンマーク出版

図書館職員のやりがいを知っていただき、身近に感じてもらえたらと思います。覚え違いの面白さに加えて、ブックガイドとしても楽しめる、1冊で2度おいしい本です。

認知症になってゆく祖母と、その娘の母の話を、孫目線で描いた作品。誰にでも訪れる、生まれ、育ち、老いていくということすべてが、かけがえのない「たいせつなじゅんばん」。ぜひご家族で読んでみてください。

正直なところ、諦めないところ、相手を思いやるころがあれば、みんなが指にとまってくれる。だれかを少しでも幸せにすることで、もっとステキな世界が訪れると思わしてくれる物語です。

「いつから始めてもOK!」「1秒でもOK!」と励まされると、なんだか運動も続けられそうな気がします。日本最高齢のインストラクターのレッスンを楽しみ、心も身体もしなやかに変身しましょう。

【開館時間】 平日 午前10時～午後8時／土日祝 午前10時～午後6時 【4月の休館】 4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、28日(木)

消費生活相談

「公的機関を名乗る架空請求ハガキの相談が急増しています！」

相談内容



「消費生活支援センター」を名乗るところからハガキが届いた。「料金未払いのため、裁判所に訴状が提出されている。連絡をしない場合は、給与や不動産の差し押さえを強制的に行う。至急連絡するように」と書いてある。内容に身に覚えがないが、どうしたらよいのか。
(70歳代 女性)

アドバイス



相談者には、最近同様の相談が多数寄せられており、本事例は架空請求なので、無視をするよう助言しました。また、今後こうした身に覚えのない請求が届いても、決して事業者に連絡しないよう伝えました。

ポイント



公的機関等をかたったハガキや封書にご注意ください！

「消費者支援センター」などといった公的機関を思わせるようなところから、訴訟関係のハガキを受け取ったという相談が多く寄せられています。「訴訟」や「差し押さえ」などの言葉を使って不安をあおり、連絡させようとする悪質な手口に注意してください。

■消費生活相談員による相談コーナー

自治振興課(役場1階)
☎286-3128
月～金曜日
午前9時～正午、午後1時～4時

■消費者ホットライン

☎局番なしの **188**

